

企業・事業主の皆様へ

特別支援学校高等部生徒の希望進路実現に向けて

実習先・就労先を探しています



洗車作業（大分支援学校）



メンテナンス作業（新生支援学校）



事務作業（由布支援学校）



喫茶サービス作業（南石垣支援学校）

令和6年3月
大分県教育委員会

現場実習へのご理解とご協力を

特別支援学校では、子どもたちの自立と社会参加を目指して、就労支援・指導を行っています。その一環として、直接的な体験を通して、働くための知識・技能を身につけるために、地域の企業等で現場実習を実施し、雇用につなげる取組を行っています。子どもたちの希望進路実現、「なりたい自分」に向けて、企業・事業主の方々のご理解とご協力をお願いいたします。

※各特別支援学校では、ワーキングフェアの開催や、学校公開をしていますので、興味のある方は各特別支援学校にお問い合わせください。連絡先は巻末の学校一覧をご参照ください。

現場実習について

- 期 間 : 1週間から2週間程度（実情に応じて）
- 時 間 : 各企業の勤務時間を基に相談のうえ決定
- 報 酬 : 授業の一環として行うため無報酬
- 保 険 : 学校で加入している保険を適用
- その他 : 必要に応じて教員が巡回指導等を実施

※現場実習を実施したら採用しないといけないということではありません。就労に結びつくのが理想的ですが、実習の経験をその後の学習や進路選択に役立てることが目的です。



中津支援学校の実習の様子

企業情報登録フォームについて

さくらの杜高等支援学校は「一般就労率100%」を目標に令和4年度に開校した学校です。他校に比べて現場実習の回数が多く、より職業教育に特化した教育課程となっています。また、さくらの杜高等支援学校は就労に関するセンター的機能を有しており、HPに「企業情報登録フォーム」を掲載しています。特別支援学校の生徒の現場実習の受入れや採用をご検討している場合は、下記二次元バーコードを読み取り、「企業情報登録フォーム」から企業情報をご入力ください。

※登録をしないと現場実習や採用ができないというわけではありません。
あくまで情報の一元化のためのツールとなっています。



特別支援学校での職業教育の実際

特別支援学校では、「職業」の授業を中心に、作業に関する学習を行っています。作業の学習では、作業種に関係なく、子どもの働く意欲を培いながら、将来の職業生活や社会自立に向けて基盤となる資質・能力を育むことを目標に指導・支援しています。



手芸に関する作業の様子



メンテナンスに関する作業の様子



木工に関する作業の様子



洗車に関する作業の様子



喫茶サービスに関する作業の様子



名刺作りに関する作業の様子

右の二次元バーコードを読み込むと、実際の作業の様子を視聴することができます。子どもたちの実際の学習の様子を是非ご覧ください。



※各特別支援学校で、作業に関する学習の実施回数や作業種に違いがあります。各特別支援学校の教育課程に応じて実施されています。

特別支援学校卒業生の一般就労率と定着率について

令和4年度、知的障がい特別支援学校から一般就労した卒業生の割合は28.2%となっています。就労先としては、製造業(32%)、小売・食品加工・接客業(28%)が多くなっています。また、令和4年度卒業生の1年後の定着率は89%と、非常に高い数値となっています。これは、現場実習を通して、生徒が自分に適した職場を見つけることができ、企業側が生徒の実態を把握することができたことで、マッチングがうまくいっていると言えます。また、各特別支援学校は高等部を卒業した生徒に対して3年間の追支援を行うようになっています。このことも定着率向上の要因に挙げられます。

< 製造業分野における障がい者雇用の実際 >

有限会社ファン工業

〒870-0313 大分市大字屋山300番地(TOTO構内)



TOTOアクアテクノ株式会社の協力企業として、主に水栓金具の部品借りや組み立て・検査物流業務を行う企業。創業当初から障がい者雇用に取り組み、2020年、九州で初めて、障がい者雇用に関する優良な中小事業主に与えられる「もにす」認定を取得。大分支援学校の平成29年度卒業生を1名雇用。

<代表取締役の野崎栄司さんへインタビュー>

Q1. なぜ特別支援学校の卒業生を雇用したのですか？

A. 特別支援学校が実施している技能発表会（現：ワーキングフェア）を見学した際、生徒の働きたいという気持ちと熱心に作業に取り組む姿勢を見たことで、特別支援学校の生徒に対するイメージが変わり、そこから現場実習を受け入れました。そのことが特別支援学校の生徒の雇用につながりました。

Q2. 実際に雇用してからの感想は？

A. 苦手なことがあっても、こちらが環境を整えれば、一生懸命仕事に取り組み、力を発揮してくれています。また、特別支援学校さんは卒業後3年間追支援をしてくれますし、障害者就業・生活支援センターの大分プラザさんの支援もあり、働くということに慣れ、今では貴重な戦力になってくれています。

Q3. 障がい者雇用で心がけている点はなんですか？

A. 障がい者の方が不安にならないように迎え入れる体制作りを行っています。それと、障がい者の方の特性を考慮して、その方の強みを生かせるようにしています。そして、配慮とコミュニケーションを大事にしています。話すことが苦手な方もいますので、その方とは交換ノート等を活用してコミュニケーションを取るようにしています。

○実際に配慮している点

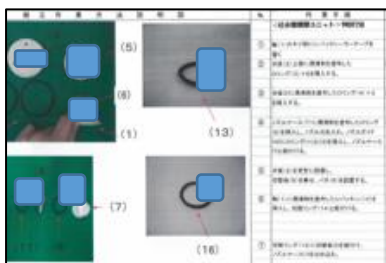


数えやすいように基盤の目ようになったキット箱（左）。類似部品を覚えやすいように二次元バーコードを活用（中央）。品番を間違えないようにナンバリングして、色別でわかりやすく表示し整理された棚（右）。

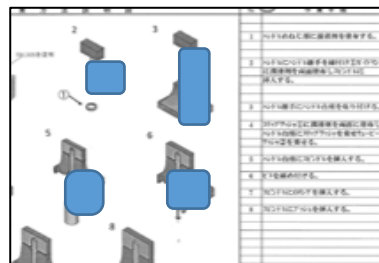
○障がい者の方々の力を発揮してもらうための工夫

ケース①

組み立て作業が得意なので、作業指導票を作成し、組み立て作業を担当してもらったが、作業指導票を理解するのに時間がかかることが判明。本人に話を聞くと、「プラモデルの説明書を見るのは得意」という回答があり、プラモデルの説明書のように、立体的にした作業指導票を作成。その結果、その方は作業指導票を読み取りやすくなり、作業に集中できるようになった。



当初の作業指導票



立体的に示した現在の作業指導票

ケース②

本人と話をする中で、乗り物が好きで、車の運転に興味があることが判明。本人の希望を尊重し、電動構内運搬車を担当するようになった。自分の希望がかない、今まで以上に仕事に集中して取り組むようになった。

【1人1人の特性に合わせた業務】



精神障がい
プラモデルの組み立てが好きと
いうことから部品組立を担当



知的障がい
スマホ操作の上手さから、端末
を操作するピッキングを担当



身体障がい
作業台の高さ調整、使用工具の吊
り下げ方式の導入等の工夫

○特別支援学校の先生や保護者に伝えたいこと

保護者や先生の意見も大事ですが、一番大事なのは本人の気持ちです。本人がここで働きたい、こんな仕事がしたいという気持ちを大事にしてもらいたいです。それが仕事に向き合う力になります。是非、子どもの気持ちに向き合って、子どもの背中を押してあげてください。

※ファン工業の障がい者雇用の取組の詳細については、
大分県障がい者雇用促進ジャーナル「ともに働く」
(第3号)に掲載しています。



< 障がい者雇用の具体例 >

社会福祉法人 清流共生会 清流苑 〒870-0128 大分市森336



○【福祉分野】 実際に配慮している点



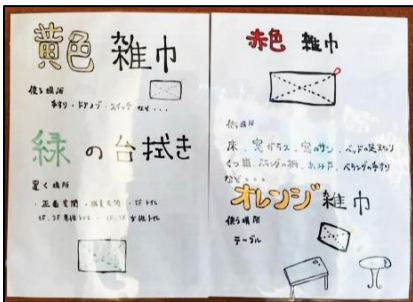
利用者ごとに飲み物の作り方をシールで貼り、可視化



飲み物を用意する際、利用者ごとに種類や配分を示したシートを活用



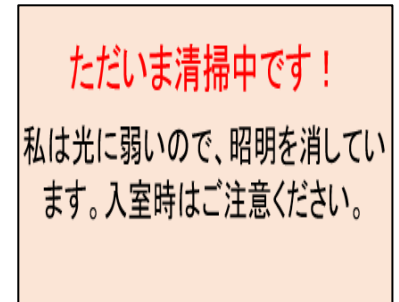
シートの上に用意した飲み物を載せて提供



わかりやすいように雑巾の種類や使い方を書いた資料を壁に掲示



清掃の際にわかりやすいように図示した資料を、清掃箇所ごとに作成



仕事しやすいように本人の特性を周りに伝える掲示物を作成

株式会社トキハインダストリー 三重店 〒879-7131 豊後大野市三重町市場5区



○【小売業分野】 実際に配慮している点



惣菜コーナーで働く方がわかりやすいように作業内容を具体的に図にして作業場に掲示

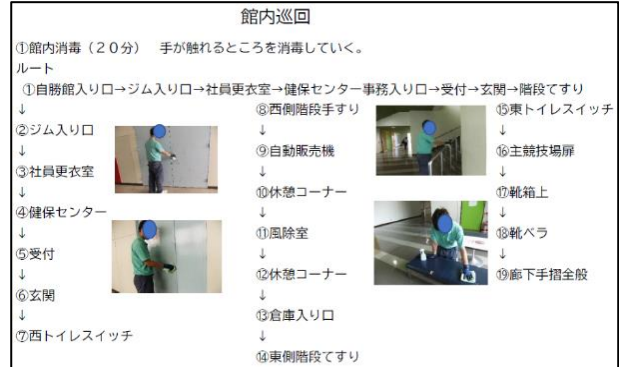
トキハインダストリー三重店の取組については、大分県障がい者雇用促進ジャーナル「ともに働く」(第2号)に掲載しています。



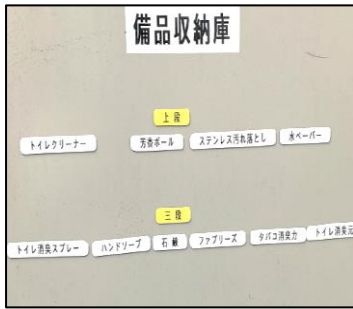


○【メンテナンス分野】 実際に配慮している点

6	自在ホウキにて非常口灯周辺の蜘蛛の巣除去 ※保護メガネ装着のこと（眼鏡使用者は不要）		高い位置にあるなど除去が難しい時は支援員に連絡すること
7	フロア清掃に使用する体育館モップ1本の除塵を行う ※マスク装着のこと		※モップ先端を上下反転させしっかり除塵を行うこと
8	体育館モップにてフロア外周を一周し外周隅の清掃を行う ※西側中央非常口付近にゴミを集める ※手袋装着		腹部を圧迫しないようモップを正面で構えない



清掃場所ごとに、清掃の手順書を作成し、清掃の手順を具体的に可視化している。また、右の手順書のような簡易版も作成しており、清掃する方はわかりやすい方を選び、清掃に取り組んでいる。



ロッカーを開けずに中身がわかるように可視化（左）

様々な場所で清掃場所の置き場をわかりやすく提示（右）



○【事務作業分野】 実際に配慮している点

属人化していた作業を誰でもできるようにするためにマニュアルを作成し見える化を行った

【現状】
消毒液の補充・確認の作業を1人でやっている
補充のマニュアルがなく作業員以外がスムーズに作業できない

【問題点】
①アルコール容器がどこに設置されているかが分からない
②アルコール補充用の道具置き場や手順が分からない

【改善内容】
・マニュアルを作成した
・補充タイミングや補充量ができるように印をつけた
①容器の設置場所を明確にした
②補充用アルコール置き場、補充に使用する道具の置き場、補充の手順を明確にした
③作業でできる工夫を【アドバイス】としてマニュアルに追加した
④補充量、補充タイミングができるように目印のシールを容器に貼り付けた

【結果】
マニュアルを見ることで担当者が不在でも対応できるようになった

1・消毒用アルコール残量の確認と回収

【消毒液管理場所】
(1)2F自動ドア前
(2)2F階段機
(3)3F階段機
(4)1F階段機
(5)1Fエレベーター前
(6)厚生棟1F男子ロッカー前
(7)厚生棟外階段下の掃り機
(8)男子ロッカー①
(9)男子ロッカー②

2・消毒用アルコールの補充

①フェルパス管理表に記入する
②記入用紙は健保センター入口入って右手側の扉の机の上にある



障がいがある方と指導担当の方が話し合いながら作業環境を改善し「改善提案書」としてまとめている。（左）
手指消毒用アルコールの補充では補充するタイミングと補充する量を明確にする工夫を行っている。（右）

< 具体的な仕事の切り出し例について ～病院・福祉関係業務を参考に～ >

【事務補助業務】

○清掃全般

- ・屋外：植木、庭園の水やり、枯葉掃除、草むしり、公用車の車内外洗車、駐車場など周辺清掃、ゴミ置き場(倉庫)の整理 等
- ・屋内：床、控室、面談室、食堂、トイレ、廊下の手すり、待合室の椅子、自販機周辺 等

○補助作業

- ・カルテ棚の整理 (古いカルテなどの書類をスキャンしてデータ化、倉庫へ運搬等)
- ・郵送作業 ・再生紙置き場の整理整頓 ・社用名刺の作成 ・タイムカードの補充
- ・シュレッダーかけ ・郵送事務、郵便物投函、配布 ・領収印押印、入院札の作成
- ・パンフレットの整理、補充 ・掲示物の整理、張り替え ・給茶機の補充 等

【看護助手的業務】

○清掃全般:病室、洗面台、床、風呂、洗濯機周辺、リネン室、処置室、トイレ 等

○リネン室(寝具全般)管理

- ・各室への配達 ・リネンの片付け (ベッドメイキング含む)

○洗濯物たたみ、受け渡し

- ・病衣、白衣などの準備、配布

○その他

- ・入院セットや消耗品の管理、補充 ・書籍コーナー、各種棚の整理 ・利用者への聞き取り
- ・ゴミ出し(倉庫に持って行く)作業 ・車いす、ストレッチャー、体重計などの清掃、点検 等



福祉施設の利用者への聞き取りの様子



ベッドメイキングの様子

<ワーキングフェアの様子>



佐伯支援学校の開催の様子



白杵支援学校の開催の様子



由布支援学校の開催の様子



日田支援学校の開催の様子

<メンテナンス技能検定の様子>

就労への意識を高めることを目的として、大分県ビルメンテナンス協会のご協力の下、メンテナンス技能検定を実施しています。審査を受け、級位を認定することで、日頃の努力が認められ、自信と達成感を得ることにつながっています。



テーブル拭きの様子



ダスタークロスの様子

○大分県内特別支援学校一覧

学校名		郵便番号	住所	電話番号
視覚障がい	盲学校	870-0026	大分市金池町3丁目1-75	097-532-2638
聴覚障がい	聾学校	870-0026	大分市金池町3丁目1-60	097-538-6661
肢体不自由 ・病弱	別府支援学校	874-0840	別府市鶴見4224	0977-24-0108
肢体不自由	別府支援学校鶴見校	874-0838	別府市鶴見4075-12	0977-21-1349
病弱	別府支援学校石垣原校	874-0838	別府市鶴見4050-293	0977-24-6060
知的障がい	さくらの杜高等支援学校 ※ジョブ・コンダクター拠点校	870-0823	大分市東大道2丁目5-23	097-543-1700
	宇佐支援学校 ※ジョブ・コンダクター拠点校	879-0314	宇佐市大字猿渡1137-19	0978-32-1780
	中津支援学校	871-0008	中津市大塚1番地	0979-22-0550
	日出支援学校 ※ジョブ・コンダクター拠点校	879-1504	速見郡日出町大神1618-1	0977-72-2305
	南石垣支援学校	874-0910	別府市石垣西1丁目2-5	0977-23-3454
	由布支援学校	879-5406	由布市庄内町西長宝1796	097-582-0326
	新生支援学校 ※ジョブ・コンダクター拠点校	870-1155	大分市大字玉沢980-1	097-541-0336
	大分支援学校	870-0261	大分市大字志村763-1	097-527-2711
	中央支援学校	870-0823	大分市東大道2丁目5-12	097-543-0011
	臼杵支援学校	875-0083	臼杵市大字井村911番地	0972-62-3930
	佐伯支援学校	876-2121	佐伯市大字木立839-5	0972-28-3144
	竹田支援学校 ※ジョブ・コンダクター拠点校	878-0023	竹田市大字君ヶ園1170	0974-63-0722
	日田支援学校 ※ジョブ・コンダクター拠点校	877-1352	日田市大字西有田2941-1	0973-24-2000
大分大学教育学部 附属特別支援学校	870-0819	大分市王子新町1-1	097-543-8317	

※ジョブ・コンダクターは、生徒の一般就労達成に向け、生徒個々の特性に応じた仕事の切り出しや支援方法を企業へ提案する等の業務を行っております。

大分県教育庁 特別支援教育課

〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号

TEL 097-506-5562

ホームページ <https://www.pref.oita.jp/soshiki/31860/>

